

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みするー本間龍
- 42 新・不養生のすすめー大西睦子
- 51 西風
- 59 交差点ー読者の声・編集者の声

社会・文化



「日本医学界の最高峰」はもはや死んでいる。本誌既報の手術死亡事故を筆頭に、医療ミスの続発で患者は激減。実質赤字で経営は火の車だ。東大本部の財務を圧迫する「お荷物」に、分離・売却を望む声も。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カフェセル
- 100 がん検査・治療に「新時代」到来
- 不治の病「克服」に大きく前進
- 104 稀代の悪政「ポイント還元策」
- 国民の血税が「犯罪集団のカモ」に
- 106 北海道「雪」に生きる動物たちー命を賭けた「越冬」に変化
- 108 ダウインチ没後五百年で「仏伊の政争」ー記念展「作品貸出」で大もめに
- 日本のサンクチュアリ●シリーズ 533
- 110 東大医学部附属病院ー事故と不正まみれ「赤字経営」の惨状
- 88 皇室の風ー岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話ー齊藤貴子
- 94 本に遇うー河谷史夫
- 96 をんな千一夜ー石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

経済

- 60 総合取引所構想を腐らす「悪党」一人ー私欲で歪む日本資本市場の将来
- 62 三菱UFJ旧三和殲滅の最終章
- 経営官脳陣「赤化作戦」の非情
- 64 国策資源会社JAPEXの「解体処分」ー血税浪費した「穀潰し」の末路
- 67 連載「クロースアップ」
- 柿木真澄 丸紅次期社長ー商社上位三社との差は縮まるか
- 68 連載「企業研究」日本オリンピック委員会(JOC)
- 贈賄疑惑に揺れる「超金満団体」
- 72 日立「英国原発凍結」の裏事情ー東芝との「事業統合」への渴望
- 74 経済●情報カフェセル
- 78 連載「地方金融の研究」川崎信用金庫ー超リスク運用で抱えた「爆弾」
- 80 川崎重工が秘す「P1哨戒機」醜聞
- 「欠陥機」納品で税金はったくり
- 82 スズキを悩ます修会長の「老害」ー「君臨四十年」の企業統治に限界
- 84 トヨタ章男と一族の「愛憎劇」
- 分家筋「徹底排除」と次なる世襲

まさに「五輪太り」。補助金や企業からの収入が急膨張するが、使途は不明朗なことだらけ。不祥事まみれのスポーツ界を象徴する「総本山」の腐敗体質。フランス当局が迫及する贈賄疑惑は氷山の一角だ。(68頁)



政治



超長期政権で天下泰平の政界。国家的難題は全て先送りし、やるのは世論ウケするバラマキ政策ばかり。安倍の世に浮かれる与党は弛緩し切り、野党は野合と対立の負の連鎖。「政治屋」どもの宴が続く。(48頁)

- 44 政治●情報カフェセル
- 46 安倍応援団「神社界」が大揺れ
- 靖国前宮司「暴露手記」の痛烈
- 48 永田町は今日も「ノーテンキ」
- 「平成元祿」平和ボケの安倍政権
- 52 連載「政界スキヤン」首相候補には程遠い「世耕弘成」
- 54 「見所満載」福井県知事選の泥仕合ー自民分裂で荒れる「原発立県」
- 56 野党共闘の「癌」枝野幸男
- 安倍政権を「援護」する独裁党首
- 58 連載「罪深きはこの官僚」定塚由美子(厚生労働省官房長ー統計不正の「隠蔽」を主導

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」ジョージ・フリードマンー中国・ロシアの「炎上」は遠くない
- 特別レポート
- 6 韓国が壊す「アジアの秩序」
- ー「日米韓同盟」空洞化の代償
- 12 トランプ「ロシア疑惑」で新展開
- 「親露ウクライナ人」との濃密な関係
- 14 米軍需産業の知られざる「中国依存」ー「レアアース輸入」が国防上の危機に
- 16 独「緑の党」に潜み始めた極右ー自然志向「バイオ・ナチ」が増殖
- 18 WORLD●情報カフェセル
- 22 トルコから流出する「エリート人材」ー富裕層の「八分の二」が国を去る
- 24 JOC疑惑と仏スポーツ界の「魔窟」
- 「ゴーンの報復」は筋違いの大捜査
- 28 ロシア極東は危険すぎる「荒廃地」ー日ロ交渉「経済協力」の落とし穴
- 30 印モディ政権に「大変調」ー最貧困層の離反で「政権交代」の兆し
- 32 韓国「三・一運動百周年」の反日暴走
- 日韓関係「絶望」の深層
- 34 中国で大学教授が「反乱」ー「天安門三十年」習近平批判が噴出
- 36 中国経済「沈没」の大波
- 「消費減退」の悪夢が日本企業を襲う
- 38 連載「現代史の言霊」二月の序曲ー「コソボ紛争(一九九八ー一九九九年)」

北東アジアの安全保障の要である「米韓二人三脚」が、文在寅の軽挙により転倒の危機に。北への拙速な融和と「媚中路線」に怒った米国は、韓国から離れ、台湾にシフト。対中防衛ラインは「南下」し始めた。(6頁)

